

# 玉掛、巻き上げ作業注意

丸藤シートパイル

## 〈巻き上げ〉

作業の手順	要 点	注 意 事 項
1. クレーンを呼ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運転士の見える位置から。</li> <li>2. 合図は1人で動作は大きく明確に。</li> <li>3. 吊荷をはっきり指示する。</li> <li>4. 吊荷の重心の真上にフックを誘導する。</li> <li>5. 玉掛しやすい高さにフックをとめる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた合図による。</li> <li>・片手で合図ができない場合は笛を併用する。</li> <li>・重心の判定は正確に。</li> <li>・合図は大きくはっきりと</li> </ul>
2. 玉掛をする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吊具を調べる。</li> <li>2. 重量、重心、荷くずれを警戒する。</li> <li>3. 玉掛は2本吊り以上を原則とする。</li> <li>4. 吊り角度は60° 以内にする。</li> <li>5. 角張ったものには当物をする。</li> <li>6. ワイヤが滑らないか確かめる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・破損、変形、ねじれ、適合性</li> </ul> <p>「重量目測の仕方」「玉掛ワイヤの選び方」 参考1, 2</p>
3. フックに吊り索をつける。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フックの中心へかける。</li> <li>2. ワイヤをねじらないように。</li> <li>3. フックは重心の真上に。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足元に気を付ける。</li> </ul>
4. 少し巻き上げ、必ず一旦停止をする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワイヤの位置が変わらぬよう支える。</li> <li>2. ワイヤが張る寸前で一旦停止をする。</li> <li>3. 重心にフックがきているか。</li> <li>4. 周囲の状況を確認する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手足を挟まれぬよう。</li> <li>・必ず一旦停止する。</li> <li>・不具合のときは吊り直す。</li> <li>・逃げ場はあるか。足場はよいか。</li> <li>・部材の間に指や手を沿わせない。</li> </ul>
5. 待避する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全な場所へ。</li> <li>2. 付近の作業員にも注意する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横行、縦行に対する斜方向へ。</li> <li>・吊荷やブームの旋回下に人を立ち入らせない。</li> </ul>
6. 巻き上げの合図をする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水平に吊れているか。</li> <li>2. 吊荷が他の物に当たらないか。</li> <li>3. 吊荷の振れはどうか。</li> <li>4. 吊荷の掛り具合はどうか。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾きがひどいと危険。</li> <li>・悪い場合は吊り直す。</li> <li>・指差呼称「センターヨシ!!!」</li> </ul>